

全校のみなさん、おはようございます。今日の朝の活動はあったかハートタイムです。心を落ち着かせて、目と耳と心でじっくり話を聞きましょう。

2019年7月3日。みなさんはこの日が何の日か、知っていますか。

5年前のこの日、岐阜市の中学三年生の男の子がいじめによって自ら命を絶ったというとても心が痛む出来事が起きた日です。その男の子は同じクラスや部活動の児童から「ける、なぐる、お金を要求される、給食で好きなものを取り上げられる、嫌いなものを押し付けられる」などたくさんのいじめを受けていたそうです。

このような悲劇を二度と繰り返さない、学校のみんが安心して楽しく学校に来ることができるようにしたいという願いから、岐阜市では6月24日から7月3日までを「いじめ防止 強化週間」としました。今日はそんないじめについて、なぜ起きてしまうのか、どうすれば悲しい思いをする子がいなくなるのかについて、先生の思いを聞いてください。そして一緒に考えていきましょう。

「〇〇さんって変だよね。」みなさんはこんな言葉を聞いたことはないでしょうか。「ほかの人と比べて背が高く変だよね。」「こんなこともできないの？変なの」など、もしかしたら自分も言われたことがあるな、聞いたことがあるなという人もいるかもしれません。

「あかいほっぺた」という絵本の中にも、このような言葉が出てきます。

わたしとトムはなかよしの友達。ところがある日、私はトムのほっぺたを指さして何気なく「トムのほっぺた、へんなの、まっかだよ」と言います。

すると、それを聞いた周りの子が次々と「トムのほっぺた、まっかっか」「トマトみたい」「イチゴだよ」「わあ、もっと赤くなった」みんなで目配せしてひそひそ言い合いました。

だって、不思議でおもしろかったんだ。だれかが指をさすと、トムのほっぺたはどんどん赤くなる。「ねえやめて!」とトムが言う。しかし周りのみんなからはどんどん笑い声があがりました。

この話を聞いて、みなさんはどう感じましたか。私が何気なく言った一言がクラス中に広がり、いじめにつながっていることに気が付いたでしょうか。

では「〇〇さんって、変だよね」の「変」って、誰が、どうやって決めているのでしょうか。どうしてトムは変だと言われたのでしょうか。

それは、自分と考えが違うから、自分と見た目が違うからといった「自分中心」の考え方から生まれたのだと思います。私と違ってトムのほっぺたが赤いから。それは「変」なのでしょう。

自分と周りの人が違うのは、当たり前のことです。算数が得意な子もいれば、走るのがとっても早い子もいるし、給食をいっぱい食べる子もいます。それを、「変」だと言ってしまうから、いじめにつながってしまったのだと先生は思います。ではど

うすればよかったのか。それは

「変」ではなく「違い」や「個性」として捉えることです。みんなにも、自分とまわりの人と違いがあると思います。

先生にもたくさんあります。先生は運動があまり得意ではありません。それに対して「そんなこともできないなんて変だね。みんなできているのに変だね。」と言われたら、心がとっても痛くなります。「だれにでも苦手なことはあるよね。一緒に頑張ろうね。」こんな風に声をかけてもらえたら、心はぽかぽか温かくなります。自分の違いや周りの子の違いを知り、トムのように嫌な思いをする子が誰一人いないよう、自分のよさや仲間のよさの個性に目を向けていきましょう。

華陽小学校には、そんな仲間のよさをみつける一つとして、あったかハートリングの木があります。7月3日のロングにここ遊びでは、別の学年とペアになってよさを見つけ、リングの実に書いて交換します。学級、学年をこえてよさを見つけ合える素敵なかよう小学校にみんなで行きましょう。

これであったかハートタイムを終わります。静かに聞いてくれて、一緒に考えてくれてありがとう。

